

ディーゴ ガイド



2026.9.21-27

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior
Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II
Peter 3:18

L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。(1〜3つ)
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い(なるべく短く)
- ④預言の祈り(主の御心を宣言して祈り)をします。

L T G Guide

セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様をあげます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディボーションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと?
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか?(または誉めたいですか?) 1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか?
- ④互いの必要のために祈りましょう。

Cell Group Guide

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは?(信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど)

②どんな思いになりましたか?(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか?(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか)

④この世にあって何を実践しますか?

Family Worship

21日 月曜

歴代 I

12:23 【主】のことばのとおりにサウルの支配をダビデに移すために、ヘブロンにいるダビデのもとにきた武装した者のかしらの数は次のとおりである。
12:24 ユダ族で、大盾と槍を手にして武装した者六千八百人。
12:25 シメオン族からは、戦に出る勇士七千百人。
12:26 レビ族からは四千六百人。
12:27 エホヤダはアロンの家のつかさで、彼とともにいた者は三千七百人。
12:28 ツァドクは若い勇士で、その一族には二十二人の隊長がいた。
12:29 サウルの同胞ベニヤミン族からは三千人。その大多数は、それまでサウルの家を守り続けてきた。
12:30 エフライム族からは二万八百人。彼らは勇士で、その一族で名のある人々であった。
12:31 マナセの半部族からは、ダビデを王にするために指名されて来た者一万八千人。
12:32 イッサカル族からは、時を悟り、イスラエルが何をなすべきかを知っていた、かしら二百人。その同胞はみな彼らの命令に従った。
12:33 ゼブルンからは、完全に武装して戦いの備えをして従軍していた者五万人。彼らは心をつにして集まった。
12:34 ナフタリからは隊長一千人。彼らのもとに大盾と槍を取る者三万七千人。
12:35 ダン人からは、戦いの備えをした者二万八千六百人。
12:36 アシエルからは、戦いの備えをして従軍する者四万人。



12:37 ヨルダンの川向こう、ルベン人、ガド人、マナセの半部族からは、戦いのために完全武装をした者十二万人。

12:38 これらすべての、戦いに備えて集まった戦士たちは、ダビデを全イスラエルの王にしようと、全き心でヘブロンにきた。イスラエルの残りの者たちも、ダビデを王にすることで心が一つになっていた。

12:39 彼らはダビデとともに三日間そこにとどまり、食べたり飲んだりした。彼らの兄弟たちが彼らのために用意したのである。

12:40 彼らに近い者たちも、イッサカル、ゼブルン、ナフタリに至るまで、ろば、らくだ、らば、牛に載せて食べ物を運んで来た。小麦粉の菓子、干しいちじく、干しぶどう、ぶどう酒、油、牛、羊などが数多くあった。イスラエルに喜びがあったからである。

ダビデがまだサウルからねらわれていました。それでも、ダビデを慕って集まった者がいました。彼らは主に油注がれたダビデに主のみこころを確信していたのです。

ダビデはすばらしい王であり、この後指導者となるのですが、それは一人ではできのではなく、主を信じるゆえの信仰者があってことなのです。ダビデはイエス様のひな型です。私たちは先ずイエス様の權威に従いましょう。そしてイエス様が何をなさろうとしておられるか、それを知って従う人々にも協力して、みこころを実現する力となりましょう。

私たちは逆境のときにこそイエス様のもとに集まりましょう。イエス様を王としましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 22日 火曜

歴代 I



13:1 ダビデは千人隊と百人隊の長たち、およびすべての隊長と協議し、
13:2 イスラエルの全会衆に言った。「もしあなたがたが良しとし、私たちの神、【主】から出たことなら、イスラエル全土に残っている私たちの同胞に一齐に使者を送ろう。彼らのうちには、放牧地のある町々の祭司やレビ人もいる。彼らを私たちのもとに集めよう。
13:3 私たちの神の箱を私たちのもとに持ち帰ろう。私たちは、サウルの時代には、これを顧みなかったから。」
13:4 すると全会衆は、そうしようと言った。このことが、すべての民の目には良いことに思えたからである。
13:5 そこで、ダビデは、神の箱をキルヤテ・エアリムから運ぶため、エジプトのシホルからレボ・ハマテに至るまでの全イスラエルを召集した。
13:6 ダビデと全イスラエルは、バアラ、すなわちユダに属するキルヤテ・エアリムに上り、そこから、「ケルビムに座しておられる【主】」という名で呼ばれていた神の箱を運び上げようとした。
13:7 彼らはアビナダブの家から、神の箱を新しい荷車に載せ、ウザとアフヨがその荷車を御した。
13:8 ダビデと全イスラエルは、歌、豎琴、琴、タンバリン、シンバル、ラッパをもって、神の前で力の限り喜び踊った。

神の箱とは神の臨在を表わします。ダビデの功績は戦いに勝ったことだけではなく、このように主への態度を正しくしたことです。そして神の箱を喜んで大いに賛美をささげました。

このように目に見える働きだけでなく、神様に対する態度が大切であり、これでイスラエルの命運が決まるのです。同じように私たちの命運も、神様に対する態度で決まるのですから、主の前に正しくありましょう。その最たるものは礼拝です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



23日 水曜

歴代 I



13:9 彼らがキドンの打ち場まで来たとき、ウザは手を伸ばして、箱を押さえた。牛がよろめいたからである。

13:10 すると、【主】の怒りがウザに向かって燃え上がり、彼を打った。彼が手を箱の上に伸ばしたからである。彼はその場で、神の前で死んだ。

13:11 ダビデの心は激した。【主】がウザに対して怒りを発せられたからである。その場所は今日までベレツ・ウザと呼ばれている。

13:12 その日、ダビデは神を恐れて言った。「どうして、神の箱を私のところに運び込むことができるのか。」

13:13 そこでダビデは、箱を自分のところ、ダビデの町には移さず、ガテ人オベデ・エドム家に回した。

13:14 神の箱は、オベデ・エドムの一家とともに、彼の家に三か月とどまった。【主】は、オベデ・エドムの家と、彼に属するすべてのものを祝福された。

神様は聖なるお方であって、人間が汚れたままはさばかれるのです。ウザが可哀想な気もしますが、彼はその神様の聖なることと、自分の汚れに無頓着だったのです。

これは救いのひな型です。私たち人間はウザのように、そのままでは神の前に出ることはできません。ゆえに天国に入ることもできません。イエス様が十字架の身代わりによって私たちの罪汚れを処分してくださったので、私たちは主の前にでることができるのです。

ウザのように殺されることがないことを感謝しましょう。そして十字架を覚えつつ、安心して主の前に出ましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



24日 木曜

歴代 I



14:1 ツロの王ヒラムは、ダビデの王宮を建てるため、ダビデのもとに使者と、杉材、石工、木工を送った。

14:2 ダビデは、【主】が自分をイスラエルの王として堅く立ててください、主の民イスラエルのために、自分の王権が高く上げられていることを知った。

14:3 ダビデはエルサレムで、さらに妻たちを迎えた。ダビデはさらに息子たち、娘たちを生んだ。

14:4 エルサレムで彼に生まれた子の名は次のとおり。シャムア、ショバブ、ナタン、ソロモン、

14:5 イブハル、エリシュア、エリフェレテ、

14:6 ノガハ、ネフェグ、ヤフィア、

14:7 エリシャマ、ベエルヤダ、エリフェレテ。

14:8 ペリシテ人は、ダビデが油注がれて全イスラエルの王となったことを聞いた。ペリシテ人はみな、ダビデを狙って攻め上って来た。ダビデはそれを聞き、彼らを迎え撃ちに出た。

14:9 一方、ペリシテ人はやって来て、レファイムの谷間を襲った。

14:10 ダビデは神に伺った。「ペリシテ人に向かって攻め上げるべきでしょうか。彼らを私の手に渡してくださいでしょうか。」【主】は彼に言われた。「攻め上げ。わたしは彼らをあなたの手に渡す。」

14:11 彼らはバアル・ペラツィムに攻め上り、ダビデはそこで彼らを討った。ダビデは言った。「神は、水が破れ出るように、私の手を用いて私の敵を破られた。」それゆえ、その場所の名はバアル・ペラツィムと呼ばれた。

14:12 彼らはそこに自分たちの神々を置き去

りにした。ダビデが命じたので、それらは火で焼かれた。

14:13 ペリシテ人は、再びその谷間を襲った。

14:14 ダビデが再び神に伺うと、神は彼に仰せられた。「彼らを追って上って行くな。彼らに面と向かわず回り込み、バルサム樹の茂みの前から彼らに向かえ。

14:15 バルサム樹の茂みの上で行進の音が聞こえたら、そのとき、あなたは攻めかかれ。神が、ペリシテ人の陣営を討つために、あなたより先に出ているからだ。」

14:16 ダビデは神が彼に命じられたとおりにした。彼らはギブオンからゲゼルまでのペリシテ人の陣営を討った。

14:17 こうして、ダビデの名声は全地に及んだ。【主】はすべての国々に、彼に対する恐れをもたらされた。

「ダビデは神に伺った」と、2度も出てきます。今や勢いのあるダビデでしたが、戦いのたびに神様にその御心を聞いています。だから彼は勝利を手にすることができたのです。別の見方をすると、だからこそ神は彼の勝利で栄光を受けることを選ばれたのです。

主の栄光を表わすような者となりましょう。私たちの願いが主のすばらしさを表わすようなものでありましょう。そのためには主の御心を聞きましよう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 25日 金曜

歴代 I



15:1 ダビデは、ダビデの町に自分のために家を造り、また神の箱のために場所を定め、そのために天幕を張った。

15:2 そのとき、ダビデは言った。「レビ人でなければ、神の箱を担いではない。

【主】は、【主】の箱を担がせ、どこしえまでもご自分に仕えさせようと、彼らを選ばれたからである。」

15:3 ダビデは全イスラエルをエルサレムに呼び集め、【主】の箱を、定めておいた場所へ運び上げようとした。

15:4 ダビデはアロンの子らとレビ人を集めた。

15:5 ケハテ族から、その長ウリエルと、彼の同族の者百二十人。

15:6 メラリ族から、その長アサヤと、彼の同族の者二百二十人。

15:7 ゲルシヨム族から、その長ヨエルと、彼の同族の者百三十人。

15:8 エリツァフアン族から、その長シエマヤと、彼の同族の者二百人。

15:9 ヘブロン族から、その長エリエルと、彼の同族の者八十人。

15:10 ウジエル族から、その長アミナダブと、彼の同族の者百二十人。

15:11 ダビデは祭司ツァドクとエブヤタル、それにレビ人のウリエルとアサヤ、ヨエルとシエマヤ、エリエル、アミナダブを呼び寄せて、

15:12 こう言った。「あなたがたはレビ人の各家系のかしらである。あなたがたと同族の者たちは身を聖別し、イスラエルの神、

【主】の箱を、私が定めておいた場所へ運び上げなさい。

15:13 最初の時には、あなたがたがいなかったため、私たちの神、【主】は私たちに怒りを発せられた。定めにしたがって、私たちが主を求めなかったからだ。」

15:14 そこで、祭司たちとレビ人たちは、イスラエルの神、【主】の箱を運び上げるために身を聖別した。

15:15 レビ人たちは、モーセが【主】のことばにしたがって命じたとおり、担い棒を肩に載せて神の箱を担いだ。

神様の前に出ることは、永遠の救いを表わします。ただし地上ではその神にふさわしい聖なるものではなく、また聖なる人もいません。ですからそのために神様は私たちが主の前に出られる唯一の道を与えてくださいました。それがイエス様です。

ですから礼拝など、神様の前に出る祭儀においては、イエス様を表わすための決まりごとが大切になってきます。簡単に言うと、礼拝がいい加減ですと、イエス様のイメージと私たちの姿勢が歪んでくるのです。

ダビデがレビ人にしか神の箱をかつがせなかったように、すなわちそれほどまでに神の臨在を大切にしたように、私たちも神の前においては神をあげて従う姿勢を大切にしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 26日 土曜

歴代 I



15:16 ダビデはレビ人の長たちに命じて、彼らの同族の者たちを歌い手として任命し、琴、豎琴、シンバルなどの楽器を手に、喜びの声をあげるようにさせた。

15:17 そこで、レビ人は、ヨエルの子ヘマン、彼の同族からベレクヤの子アサフ、彼らの同族メラリ族からクシャヤの子エタンを任命した。

15:18 また彼らとともに同族の第二の組として、ゼカリヤ、ベン、ヤアジエル、シェミラモテ、エヒエル、ウンニ、エリアブ、ベナヤ、マアセヤ、マティテヤ、エリフェレフ、ミクネヤ、門衛のオベデ・エドムとエイエルを任命した。

15:19 歌い手ヘマン、アサフ、エタンは、青銅のシンバルを鳴らした。

15:20 ゼカリヤ、アジエル、シェミラモテ、エヒエル、ウンニ、エリアブ、マアセヤ、ベナヤは、『アラモテの調べ』にのせて、琴を奏でた。

15:21 マティテヤ、エリフェレフ、ミクネヤ、オベデ・エドム、エイエル、アザズヤは、『第八の調べ』にのせ、豎琴に合わせて指揮した。

15:22 レビ人の長の一人であるケナンヤは歌唱を担当し、歌唱を導いた。彼はそれに通じていたからである。

15:23 ベレクヤとエルカナは箱を守る門衛であった。

15:24 祭司たち、すなわちシェバンヤ、ヨシャファテ、ネタンエル、アマサイ、ゼカリヤ、ベナヤ、エリエゼルは、神の箱の前でラッパを吹き鳴らす者、オベデ・エドムとエ

ヒヤは箱を守る門衛であった。

15:25 こうしてダビデは、イスラエルの長老たち、千人隊の長たちとともに行って、喜びをもって【主】の契約の箱をオベデ・エドムの家から運び上げようとした。

15:26 神が【主】の契約の箱を担ぐレビ人を助けてくださったとき、彼らは雄牛七頭と雄羊七匹をいけにえとして献げた。

15:27 ダビデは上質の亜麻布の上着をまっていた。箱を担ぐすべてのレビ人、歌い手たち、歌い手たちの歌唱の導き手ケナンヤも同様であった。ダビデは亜麻布のエポデを身に着けていた。

15:28 全イスラエルは歓声をあげ、角笛、ラッパ、シンバルを鳴らし、琴と豎琴を響かせて、【主】の契約の箱を運び上げた。

15:29 こうして、【主】の契約の箱はダビデの町に入った。サウルの娘ミカルは窓から見下ろしていたが、ダビデ王が飛び跳ねて喜び踊っているのを見て、心の中で彼を蔑んだ。

喜びの声を上げて歌うように、ダビデは命じました。主の聖なることを表すのは、単にかしまっているというものではありません。この聖なるお方によって、裁かれるべきものが赦されたのです。その喜びを感じて表わすことが礼拝です。

ですから礼拝は神への恐れがなくては成り立たないですし、またその恐れが大きければ大きいほど、赦された感謝が大きく、それゆえに喜びと解放に満ちたものとなるのです。

私たちの礼拝も、また日常の礼拝もそのようでありましょう。

ダビデは威厳を持った王でしたが、しかし主の前には1人の人間であることを忘れませんでした。その王であることはもともと神様から与えられたことであるので、神様の前では王の威厳も何もな

く、ただ喜んで主をたたえたのです。

私たちは何か自分が成功した立場や、評価される立場になると、そのイメージを守るために生きようとしがちですが、その立場も成功も主から与えられたものです。主の前に最高にへりくだることこそが、そして主を最高に高くあがめることこそが、その立場にふさわしいと考えるべきです。

ミカルのように、主をたたえることをさげすむような心を待たないようにしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



16:1 人々は神の箱を運び込んで、ダビデがそのために張った天幕の真ん中にそれを置き、神の前に全焼のささげ物と交わりのいけにえを献げた。

16:2 ダビデは全焼のささげ物と交わりのいけにえを献げ終えて、【主】の御名によって民を祝福した。

16:3 そしてイスラエルのすべての人に、男にも女にも、それぞれ、円形パン、なつめ椰子の菓子、干しぶどうの菓子を分け与えた。

16:4 それから、レビ人の中のある者たちを任命して【主】の箱の前で仕えさせ、イスラエルの神、【主】に向かってその御名を呼び、告白し、賛美するようにした。

16:5 かしらはアサフ、彼に次ぐ者は、ゼカリヤ、エイエル、シェミラモテ、エヒエル、マティテヤ、エリアブ、ベナヤ、オベデ・エドム、エイエル。彼らは琴や豎琴などの楽器を携え、アサフはシンバルを響かせた。

16:6 祭司ベナヤとヤハジエルは、ラッパを携え、常に神の契約の箱の前にいた。

全焼のいけにえは献身を表わし、和解のいけにえは感謝を表わします。主が常に共にいてくださるというのは何と感謝で心強いものかと思いますが、ダビデはそのことのゆえのささげものを忘れませんでした。

私たちも主の喜ばれるものをささげましょう。契約の箱とは神様の臨在（今ここにおられること）を表わしますから、現在それはイエス様のことです。インマヌエルの主です。ですからイエス様を前にして、イエス様の喜ばれるものをささげましょう。それは愛です。イエス様の愛に答えて愛を表すこと。また受けた愛を人に流すことです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

